

事務事業チェックシート

事務事業No 547 事業名 消防庁舎等管理事業

[事業基本情報]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
基本方針	1	消防活動拠点の整備

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防費	
	大事業		消防事業	
事項		消防庁舎等管理事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	消防総務課	山下 直樹 (426-0119)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	災害時、地域の防災拠点としての機能を最大限に発揮できるように、消防庁舎の整備を行う。	消防庁舎の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕、所々修繕、火災保険等の加入、管理の委託（設備点検、エレベーター点検等）、消防用地の借上）を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）	消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）	消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）	消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）	消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	22,915	28,854	25,567	26,090	31,269		31,269		31,269		
	伸び率 (%)	-	-	11.6%		22.3%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	7,659	7,815	7,815	8,116	8,116		8,116		8,116	
		非常勤職員										
		小計	7,659	7,815	7,815	8,116	8,116		8,116		8,116	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
一般財源（税等）	22,915	28,854	25,567	26,090	31,269		31,269		31,269			
所要人数	常勤職員	1.03	1.03	1.03	1.09	1.09		1.09		1.09		
	非常勤職員											
主な予算内訳	機械修繕料438千円、所々修繕料3,505千円、火災保険料160千円、管理委託料10,137千円、土地借上料1,725千円、維持修繕工事請負費15,304千円											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	施設維持管理実施数					年度目標値	11	11	11	11	
						実績値	11	11			
	単位	施設	全体目標値	11	全体目標達成度	100.0%	100.0%				
	機械修繕、所々修繕数					年度目標値					
						実績値	67	61			
単位	件	全体目標値		全体目標達成度							
成果指標	消防庁舎が正常に機能した日数					年度目標値	365	365	365	366	365
						実績値	365	365			
	単位	日	全体目標値	365	全体目標達成度	100.0%	100.0%				
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度						
					年度別達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	消防業務に必要な施設、設備、機器等の修繕及び維持管理を行うことで、消防力の充実に貢献できます。
「見直し」 「改善」案	昭和43年から昭和62年の間に建築された消防庁舎が9か所あり、今後は老朽化による修繕コストの増加が予想されるため、施設の延命化を含めた計画的な維持管理を行う必要があります。